

IR University

第4回 「IRと資本市場シンポジウム」のご案内**IRとガバナンスの大転換期
～スチュワードシップ・コード、コーポレート・ガバナンス・コード、
伊藤レポートで、企業経営はどう変わるか～**

今、日本では、IRとガバナンス、そして企業経営の大転換期を迎えています。すでに発表されたスチュワードシップ・コードと伊藤レポート、そして来年に制定されるコーポレート・ガバナンス・コードは、IR活動のみならず、企業の経営や取締役会の在り方に大きな影響を与えることになるでしょう。

2004年から早稲田大学と共同で開講しておりますIR講座を、「IRと資本市場シンポジウム」という形で開催するようになりましてから、本年度、4回目となりました。今回のシンポジウムでは、このような変動期において、IR活動はどう進化していくのか、また、企業経営はどう変化していくのか、という視点で、次世代IRを探求しながら、さまざまな問題提起を行い、それらの課題への対応策を提示してまいります。多くの経営陣の方々、IRご担当者、経営企画ご担当者、取締役会事務局の皆様のご参加をお待ちしています。

開催趣旨

「アベノミクス」の成長戦略のもと、投資家と企業は共に大きく変わることを、日本政府から求められることになりました。投資家は、スチュワードシップ・コードを通して、企業の持続的成長・中長期的な企業価値向上に貢献することを約束させられました。そして、企業は、伊藤レポートと来年策定されるコーポレート・ガバナンス・コードを通して、ROEを意識し資本の効率性を追求する経営を行うこと、ガバナンスの形式はもとより実効性も追求することを強く求められています。企業の経営者やIR担当者は、未知の分野に入っていくことを余儀なくされることでしょう。

このような変化に備える議論を今から社内で進め、来年春頃までに発表されるコーポレート・ガバナンス・コードを先取りした体制作りを、今から進めたいものです。この作業の遅れが、3年後、5年後の企業価値の差に表れると考え、この観点での企業インタビューや分析を、既に開始している投資家も少なくありません。本年のシンポジウムでは、今何が起きているのか、企業としてどのような行動を起こせばよいのか、事前準備なしで変化にのぞんだ場合何がおこるのか、他社はどのような体制づくりを始めているのか、などを徹底的に議論してまいります。

1. 日時、開催場所

2014年10月1日(水) / 青山学院大学・アイビーホール青学会館
シンポジウム: 10:00より
懇親会: 17:45より

2. スケジュール(予定)

時間	講演内容	講演者
10:05～10:50	基調講演① 2つのコードと伊藤レポートで、 日本企業の経営とIR活動はどう変わるのか	北川哲雄氏 青山学院大学 教授
11:00～11:45	基調講演② エンゲージメントを通じて、投資家が企業に期待すること	大場昭義氏 東京海上アセットマネジメント 代表取締役社長
	ランチタイム (当シンポジウムでは、昼食の用意はございません。 学食・青学会館、近隣のレストランをご利用ください)	
13:00～13:30	現在のIR環境の整理と、 変化に備えた社内体制作りの提案	岩田宜子 ジェイ・ユース・アイアール(株)
13:30～14:00	非財務情報の開示と統合報告	芝坂佳子氏 KPMG あずさ監査法人
14:15～15:00	ガバナンスの実効性を投資家にどうアピールするか ～取締役会評価の実際～	高山与志子 ジェイ・ユース・アイアール(株)
15:00～15:45	スチュワードシップ・コードとコーポレートガバナンス・コードにより、企業と投資家の関係はどう変わっていくか	西山賢吾氏 野村証券株式会社
16:00～17:30	大討論会 「変化を先取りし、他社より一歩先に進むには、 企業は今何をしたらよいのか」	北川哲雄教授、 第一三共 近藤成径氏、 野村証券 西山賢吾氏、 高山与志子 モデレーター：岩田宜子
17:45～	懇親会	

3. 参加費用

受講経験企業※ 一人 5,000 円(税別) / その他企業 一人 10,000 円(税別)

懇親会費用 一人 5,000 円(税別)

※早稲田大学と共同開講のIR講座(IRO講座およびIRE講座)及び「IRと資本市場シンポジウム」、ならびに弊社開催の各種IR University に受講経験のある企業を対象と致します。

講師略歴

(※登壇順、敬称略)

北川 哲雄 (キタガワ テツオ)

青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授

野村総合研究所経営分析室、投資調査部、企業調査部主任研究員従事後、モルガン信託銀行調査部シニアヴァイスプレジデント、ドレスナー・アセットマネジメント常務等を経て現職。経済産業省伊藤レポート「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～プロジェクト」(座長 伊藤邦雄)メンバー

大場 昭義 (オオバ アキヨシ)

東京海上アセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

早稲田大学政治経済学部卒業。みずほ信託銀行 常務執行役員等を経て2009年6月より現職。公益社団法人日本証券アナリスト協会会長、金融庁「日本版ステュワードシップ・コードに関する有識者検討会」(座長 神作裕之)メンバー、経済産業省伊藤レポート「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～プロジェクト」(座長 伊藤邦雄)メンバー、金融庁・東京証券取引所「コーポレートガバナンス・コードの策定に関する有識者会議」(座長 池尾和人)メンバー

【主要著書】『資産運用ビッグバン』(共著、東洋経済)『検証 株主資本主義』(共著、日経センター編、日経BP社)『年金資産運用の理論と実践』(編著、日本経済新聞社) 等

芝坂 佳子 (シバサカ ヨシコ)

KPMG あずさ監査法人 パートナー

東京エレクトロン株式会社を経て、アーサーアンダーセン(現在のKPMG あずさ監査法人)入所。その後、ナレッジマネジメントの実践・推進や各種プロジェクトに従事。現在、KPMG あずさ監査法人に所属し、主としてビジネスレポートングに関わる調査研究等を実施。

西山 賢吾 (ニシヤマ ケンゴ)

野村證券株式会社 エクイティ・リサーチ部

コーポレートガバナンス/コーポレートアクション調査担当 シニアストラテジスト

議決権行使やコーポレートガバナンス、株式保有構造、株主還元、資本政策等が企業や株式市場に与える影響を分析、調査。1991年早稲田大学政治経済学部卒業後(株)野村総合研究所入社。1998年野村證券(株)転籍。企業アナリスト、日本株ストラテジストなどを経て現職。2013年9月より東京証券取引所上場制度整備懇談会委員。

近藤 成径 (コンドウ シゲミチ)

第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部IRグループ長

旧三共株式会社にて約10年間の人事部門での業務を経て、1998年9月より広報・IR業務を担当。2005年9月の第一三共株式会社発足後も引き続きIR業務を担当し、2007年4月より現職。現在は株主総会関連、個人投資家関連の業務も併せて担当している。経済産業省伊藤レポート「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～プロジェクト」(座長 伊藤邦雄)メンバー。

岩田 宜子 (イワタ ヨシコ)

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役

1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IRコンサルティング会社入社後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。2007年より2011年まで東証上場会社表彰選定委員。経産省対内投資促進委員。日本IR学会理事。

高山 与志子 (タカヤマ ヨシコ)

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター
国際コーポレートガバナンスネットワーク (ICGN) 理事

メリルリンチ証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門にて、日本企業の国内外での資金調達、格付け取得、M&Aなどに関するアドバイスを行う。1997年トムソングroupに入社後、国内外の企業に対するIR活動のコンサルティングを行う。2001年より、現職。2010年より国際コーポレートガバナンスネットワーク (ICGN) 理事。「なでしこ銘柄」選定基準検討委員会委員。